医学協会の
確かな安心
vol.44

再始動する医学協会研究・改善発表大会の幕開け

2026年
2/27

新潟テルサで開催

7年分の熱い想いをのせ
過去最多27題の発表

新時代へつなぐ改善の輪

第19回 医学協会研究･改善発表大会 実行委員長 **目﨑　保**

日頃より、医学協会の活動に対し多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。Trimをお読みの皆様に、当会内での新たな一歩についてご報告させていただきます。

このたび、当会では「研究･改善発表大会」を実に7年ぶりに新潟テルサで開催する運びとなりました。本来であれば継続して行われるべき研鑽の場ですが、未曾有のコロナ禍により、長らく中断を余儀なくされてきました。地域医療と保健衛生を支える使命感の中、職員が一丸となって駆け抜けたこの7年間。その間に蓄積された知恵と工夫、そして現場の熱意がいよいよ一つの形となります。

再開にあたり、私たち実行委員がまず驚かされたのは、職員たちの「意欲」です。久々の開催にもかかわらず、エントリーされた演題数は過去最多の「27題」にのぼりました。この数字は、中断期間中も各現場で決して歩みを止めず、常により良いサービスを模索し続けてきた証左であり、実行委員会として誇らしい気持ちでいっぱいです。

また、今回の大会は単なる「7年前の復活」ではなく、「進化」を遂げており、準備委員会の多大なる協力のもと、いくつもの効率化を取り入れました。まず、これまでは別々だったテーマ募集と発表要旨の提出プロセスを一元化し、事務作業をスリム化しました。さらに、審査方法を審査しやすく集計しやすいシステムへと変更、加えて、視認性を高めるためにパワーポイントの画面サイズ（アスペクト比）の規格も変更するなど、「時代」に即したアップデートを行っています。

これらの改善は、発表者である職員が本来の「研究･改善」そのものに集中できるよう、準備委員が知恵を絞って形にしてくれたものです。

さらに、本大会に大きな華を添えてくださったのが、特別講演です。当会理事でもあり、新潟大学大学院教授として多方面でご活躍されている加藤公則先生にご登壇いただきました。演題は「にいがたSTOP高血圧プロジェクト」。新潟県民の健康寿命延伸において極めて重要なテーマであり、先生の深い知見に触れることは、職員にとって日々の業務の意義を再確認する貴重な機会となりました。

研究発表と聞くと、少し硬い印象を持たれるかもしれません。しかし、その根底にあるのは「どうすれば県民の皆様に、より正確で、より心地よい健康支援を届けられるか」という極めてシンプルな想いです。27の演題と加藤先生のご講演から得られる学びは、すべて私たちのサービスを支える大切な財産です。

7年という月日は、私たちに「直接集まることの価値」を再認識させてくれました。この大会で共有される知見が、職員一人ひとりの成長を促し、ひいては当会を利用される皆様の安心へとつながるよう、一歩ずつ、しかし確実に前進してまいります。再始動となる発表大会に、どうぞご期待ください。

大会プログラム

9:30　開　会
開会宣言　目﨑保実行委員長
挨　拶　佐藤幸示医学協会会長

9:40　発　表
午前の部：12題【研究7・改善5】

11:45　昼食休憩

12:45　発　表
午後の部：15題【改善15】
トレーナーによるトリム体操実施
羽田 星流（十日町）
櫻井 直也（小出）
韮澤 政樹（長岡）

15:25　発表終了

15:30　特別発表
『にいがたSTOP高血圧プロジェクト』
加藤 公則 医師

16:00　総　評
表彰式（佐藤幸示医学協会会長）

16:20　終　了

リハビリテーション病院
薬剤科の研究発表

質疑応答は
活発に行われました

全員での
トリム体操実施

加藤公則先生による
特別発表

第19回 医学協会研究・改善発表大会発表一覧表

【研究発表 7題】

午前の部 12題の発表

Sec.	No.	部　門	グループ名	テーマ
1	1	臨床検査部門	すい臓の未来を守る会	すい臓がんリスク検査導入の成果
	2	健診部門	ウェルネス胃部班	放射線技師における読影の標準化
	3	健診部門	被曝管理PT	胃部X線検査被ばく低減の試み(外部DRL調査に参加して)
	4	健診部門	画像撮影・読影支援PT (十日町市・津南町胃炎検討会)	胃X線検診(住民)への胃炎診断導入の試みと成果について
2	5	健診部門	プラーカ超音波推進委員会	膵臓超音波検査についての現状と今後の課題
	6	病院部門	薬剤科	回復期病棟における心不全治療薬の継続率調査
	7	病院部門	褥瘡予防対策委員会	発生要因の分析からみえた、効果的な褥瘡予防対策へのアプローチ

【改善発表 20題】

3	8	教育研修部門	研修部	各種施策による収入維持及び経費削減
	9	総合企画部門	誘導支援システム導入の 効果・検証	健診誘導支援システム導入で選ばれる健診機関となるために
	10	渉外部門	業務三課・支援課 施設健診チーム	健診申込フローの刷新
	11	渉外部門	ウェルネス巡回計画チーム	巡回健診ガイドラインの策定～巡回健診計画の効率化～
	12	渉外部門	渉外担当部Iグループ	健診収益の向上を目指し～原価管理シートの活用～

午後の部 15題の発表

4	13	渉外部門	健康づくり推進課	オンライン指導導入による多面的効果の検証
	14	情報処理部門	情報処理1課・2課	結果処理業務にかかわる 改善活動について（効果の報告）
	15	臨床検査部門	血小板凝集対策チーム	血小板凝集対策による再採血削減への取り組み
	16	臨床検査部門	糖尿病を改善する会	糖尿病関連項目における受診勧奨の新たな取り組み
	17	健診部門	職務・資格・スキル管理PT （健診部社内資格制度委員会）	内部精度管理体制の確立に向けて～認定・専門技師養成編～
5	18	健診部門	紹介状回答返却率向上PT （紹介先管理グループ）	適切なプロセス指標を導くために～紹介状発行先の管理～
	19	健診部門	検診自動化構築PT	自動血圧計・自動視力計の導入による業務の効率化
	20	健診部門	医療院リハ科	ターミナル期のリハビリにおける意向確認シートの導入と効果 ～家族の意向に寄り添うために～
	21	病院部門	3F通所リハビリテーション	自分らしさを支える「送迎付き半日リハビリ」の新設 ～岩室の生活に根ざした新しい通所リハの形～
	22	病院部門	安心・安全な自動車運転評価検討会	自動車運転再開支援の10年間の取り組みと今後の展開
6	23	病院部門	身寄りなし課題解決チーム	家族機能の弱体化への支援～誰もが安心して利用できる病院へ～
	24	病院部門	介護骨折ゼロチーム	介護骨折ゼロへの挑戦
	25	老健部門	いわむろの里II	インフォメーションディスプレイを使用した情報発信の取り組み
	26	老健部門	Beサポ推進部	サッカーアルビを応援して心も身体もワクワクしよう!
	27	老健部門	口腔嚥下対策委員会	口腔内状態を改善するための取り組み